

フィールド6 自立協働

～多様な地域主体が自立・連携する協働型社会の実現～

◎安全安心な生活空間の形成

(単) 防災行政無線整備事業 (市民部 防災安全課)

100,000千円

1 事業目的

現在運用している同報系デジタル防災行政無線システムは、市内30か所の広報設備であることから、各自治会が所有している広報設備と防災行政無線及び全国瞬時警報システムをWi-Max網を利用して接続し、緊急災害情報等の可聴範囲の拡大を図る。

2 事業年度

平成24年度

3 事業概要

(1) 工事費	100,000千円
接続自治会	178自治会(159単位自治会+19連合体(73自治会))
接続放送施設	188施設
潮位監視カメラ	3基

4 財源内訳

(1) 市債 75%	75,000千円(防災基盤整備事業債)[交付税算入率30%]
(2) 一財	25,000千円

(施) 地域防災計画策定費 (市民部 防災安全課) (新規)

1,720千円

1 事業目的

平成17年度に修正された新居浜市地域防災計画について、土砂災害警戒区域や浸水想定区域の指定、土砂災害警戒情報や緊急地震速報の導入、防災行政無線の運用開始など現状に合わせた修正や、東日本大震災の教訓を踏まえた修正を行うとともに、防災マップを作成し、津波や土砂災害からの避難に対応した防災体制の充実・強化を図る。

2 事業年度

平成24年度

3 事業概要

新居浜市地域防災計画の修正案を作成し、平成24年度に修正が予想される愛媛県地域防災計画との整合性を図るため愛媛県と協議を行いながら、パブリックコメントの実施、新居浜市防災会議の開催を経て、2月頃に新居浜市地域防災計画を修正する。また、現状に合わせた防災マップを作成し、全戸配布する。

◎消防体制の充実

(単) 消防自動車整備事業 (消防本部)

155,770千円 (32,174千円)

1 事業目的

市民が安心して生活できることを目指し、複雑多様化する各種災害に対応するため、最新鋭の消防自動車に更新し、車両のオートメーション化、軽量化を図ることにより、安全・確実・迅速に災害対応を実施する。

2 事業年度

平成24年度

3 事業概要

消防自動車等の計画的な更新を実施する。

4 24年度の事業内容

・化学消防ポンプ自動車

配置場所 川東分署、購入年月 平成2年10月、経過年数 22年

・消防ポンプ自動車

配置場所 南消防署、購入年月 平成9年1月、経過年数 15年

・高規格救急自動車

配置場所 北消防署、購入年月 平成11年12月、経過年数 13年

・はしご自動車オーバーホール

購入年月 平成11年10月

(1) 備品購入費 119,203千円

(2) 器具修繕費 35,973千円

(3) 事務費 594千円

5 財源内訳

(1) 国 50% 12,684千円 (緊急消防援助隊設備整備費補助金)

(2) 市債 75%外 85,300千円 (防災対策事業債)

(3) 一財 57,786千円

(単) 消防分団詰所整備事業 (消防本部)

4,104千円

1 事業目的

地域の防災拠点となる消防分団詰所を計画的に更新整備することにより、市民の安心・安全を守る。

2 事業年度

平成24年度～25年度

3 事業概要

消防団活性化結果に基づき、市民の安心・安全を守る防災拠点として、別子山分団詰所を建設する。

フィールド6 自立協働

～多様な地域主体が自立・連携する協働型社会の実現～

4 24年度の事業内容

別子山分団詰所の実施設計

- (1) 委託料 4,040千円
- (2) 事務費 64千円

5 財源内訳

- (1) 市債 100% 4,000千円 (過疎債) [交付税算入率 70%]
- (2) 一財 64千円

(単) 消防救急無線デジタル化整備事業 (消防本部)

17,325千円

1 事業目的

消防救急無線をアナログ方式からデジタル方式に整備することにより、秘話通信や拡大情報通信等を可能にする。

2 事業年度

平成24年度～26年度

3 事業概要

現在使用している消防救急無線はアナログ方式で、その周波数の使用期限が平成28年5月31日までとなっていることから、既存設備の更新や統制波、主運用波、活動波を合わせてデジタル方式に整備する。

4 24年度の事業内容

- (1) 実施設計委託料 17,325千円

5 財源内訳

- (1) 市債 90% 15,500千円 (防災対策事業債)
- (2) 一財 1,825千円

(施) 雨量計整備事業費 (消防本部)

3,619千円

1 事業目的

現在新居浜市では5カ所の雨量計を設置し、台風時や近年発生している局地的豪雨時等における各地域の雨量を新居浜市のHPに掲載しているが、新たに上部地区東部に雨量計を設置することにより、広く市民に広報し、市民の安全・安心を図ることを目的とする。

2 事業年度

平成24年度

3 事業概要

上部地区東部に雨量計を設置する。

4 24年度の事業内容

雨量計設置委託料

- (1) 委託料 2,888千円
- (2) 事務費 731千円

フィールド6 自立協働
～多様な地域主体が自立・連携する協働型社会の実現～

(単) **消防施設耐震補強対策事業 (消防本部)**

8, 324千円

1 事業目的

消防施設は地震などの大規模災害が発生した場合に、被災地における救援、救護等の災害応急活動の拠点となる施設であることから、耐震診断を実施することにより、建物の被害の度合いを調査し、耐震性が劣っている場合は耐震改修を行い、新居浜市における防災拠点とする。

2 事業年度

平成24年度～25年度

3 事業概要

消防施設の耐震診断及び耐震改修を行う。

4 24年度の事業内容

(1) 耐震診断委託料 8, 324千円

◎消費者の自立支援と相談体制の充実

(施) **消費生活改善対策費 (市民部 市民活動推進課)**

8, 536千円 (9,444千円)

1 事業目的

複雑多様化する消費者問題に対応するため、消費生活相談体制の充実強化を図る。また、出前講座・学習講座などによる消費者教育の推進、関係機関、団体等との連携強化を図り、市民の消費生活の安定と向上を目指す。

2 事業年度

平成24年度

3 事業概要

(1) 消費生活相談事業	4, 903千円	
消費生活相談員の人件費		4, 695千円
研修費、パソコンリース料他		208千円
(2) 消費生活改善対策事業	127千円	
消費者のつどいの開催		23千円
自立する消費者学習講座の開催		37千円
啓発資料等の購入		67千円
(3) 消費者行政活性化事業	3, 506千円	
(愛媛県消費者行政活性化基金を活用した事業)		
消費生活センター設置に伴う増員分人件費	1, 999千円	
相談員、担当職員の研修費		531千円
多重債務法律相談の開催		584千円
食の安全セミナーの開催		32千円
啓発チラシ、グッズ作成等		360千円

4 財源内訳

(1) 県	4,203千円
(2) 一財	4,333千円

◎男女共同参画社会の形成

(施) DV対策推進費(市民部 男女共同参画課)

3,187千円 (2,245千円)

1 事業目的

DV相談については、近年相談内容が多様化・深刻化し相談件数は年々増加しており、DV被害者等の緊急避難支援及び緊急一時保護が必要なケースも増加傾向にある。

平成20年6月に市が独自にDV被害者サポーター登録制度を定め、同年12月にはNPO法人新居浜ほっとねっとが設立され、各関係機関及び各団体との協力・連絡等を密にして連携をうまく取っていくことにより、DV被害者等が安心できる生活が営めるようなサポート体制整備を図っていく。

2 事業年度

平成24年度

3 事業概要

- | | |
|---|---------|
| (1) DV相談等の充実 | 846千円 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・毎週火曜日午後15時にDV相談を実施、また緊急及びフォロー相談にも対応 ・DV相談員に連絡・支援対応用の携帯電話を貸与 ・DV被害者サポーターの傷害保険に加入 ・DV相談員及びDV被害者サポーターの同行支援等に対する費用の一部負担 ・外国人(日本語が十分に理解できない)のDV被害者からの相談に対応できるよう通訳者を同行 | |
| (2) DV相談員研修等の実施 | 254千円 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・DV相談員研修への参加 ・DV関係相談員セミナーへの参加 ・DV相談員等の心のケア研修を実施 | |
| (3) 配偶者暴力被害者緊急避難支援等に関する要綱の活用 | 87千円 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・緊急一時保護等の扶助費を支給 | |
| (4) NPO法人新居浜ほっとねっとへの活動補助 | 1,000千円 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・暴力に苦しむ女性と子どもの保護支援活動事業補助金 | |
| (5) 愛媛県地域課題解決活動創出支援事業補助金の活用 | 1,000千円 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・相談員等の資質の向上及び支援体制拡充事業委託料 | |

4 財源内訳

- | | |
|--------|---------|
| (1) 県 | 1,000千円 |
| (2) 一財 | 2,187千円 |

◎人権の尊重

(公) 瀬戸会館整備事業(市民部 人権擁護課)

(新規)

31,390千円

1 事業目的

老朽化が著しい瀬戸会館について、内外装・屋上防水・空調設備・トイレ増設等の大規模改修を実施し、建物機能を回復させるとともに公共下水道接続工事を実施する。

併せて、一階フロア等のバリアフリー化を推進し、土足化することにより、利用者の利便性を高め、人権尊重のまちづくりの拠点として整備する。

フィールド6 自立協働
～多様な地域主体が自立・連携する協働型社会の実現～

2 事業年度

平成24年度

3 事業概要

- (1) 瀬戸会館整備事業設計委託 1, 874千円
- (2) 公共下水道接続工事 2, 029千円
- (3) 瀬戸会館大規模修繕工事 27, 487千円
 - ・建物内外装補修、屋上防水
 - ・玄関、トイレ等バリアフリー化（多目的トイレの設置）
 - ・女子トイレ増築
 - ・エアコン設置（更新4台、新設2台）
 - ・バルコニー手摺改修、非常階段補修外

4 財源内訳

- (1) 県 18,394千円
- (2) 一財 12,996千円

◎地域コミュニティの充実

(単) **コミュニティ施設整備事業（市民部 市民活動推進課）（拡充）**
26, 198千円 (16,600千円)

1 事業目的

自治会の地域コミュニティ活動拠点施設である集会所施設（自治会館等）や自治会活動の一環である関連施設（放送施設・掲示板・防犯灯）の改修・修繕・新設等整備工事に対して、補助金を交付する。

また、集会所建設（新築）工事に対して、補助金を交付する。

2 事業年度

平成24年度

3 事業概要

集会所、集会所施設及び倉庫等附帯施設、放送施設及び掲示板、防犯灯整備補助金

- (1) コミュニティ施設等整備事業補助金 11, 198千円
 - ◆実施主体 各自治会
 - ◆施行箇所 各自治会館及び関連施設
 - ◆補助率 1/2以内（放送用アンブ更新のみ全額）
 - ◆補助限度額 集会所施設等 600千円
 放送施設・掲示板 130千円
 防犯灯支柱なし1基 9千円 等
 - ◆補助金額 集会所施設、放送施設、掲示板等修繕 10, 200千円
 防犯灯 998千円
- (2) 自治会館1館の新築工事（篠場自治会館新築予定） 15, 000千円
 - ◆補助率 工事精算額の3/5以内
 - ◆補助限度額 15, 000千円（他費用は自治会負担）
 - ◆工事費 26, 820千円（予定）
 - ◆備考 木造建築を原則とし、補助基準単価1㎡165千円
 土地の取得・造成費、建物の設計解体費等は補助対象外

フィールド6 自立協働

～多様な地域主体が自立・連携する協働型社会の実現～

(施) 地域コミュニティ活動支援事業費 (市民部 市民活動推進課)

52,236千円 (52,236千円)

1 事業目的

魅力ある地域コミュニティの育成を図るとともに、自治会加入促進策への協力や自治会の自主・自立・基盤強化と活性化に向け、地域住民自治力の向上を図るため、最大の地域コミュニティ組織である新居浜市連合自治会の諸活動を支援する。

2 事業年度

平成24年度

3 事業概要

新居浜市地域コミュニティ活動支援交付金

- | | |
|---|----------|
| (1) 防犯活動推進事業 | 18,942千円 |
| 自治会が行う防犯活動、防犯灯設置への交付金 | |
| (2) 新居浜市連合自治会活動事業 | 436千円 |
| 総会や研修事業、金婚式及び自治会役員表彰事業、自治会加入促進事業、連合自治会活動事業への交付金 | |
| (3) 広報活動事業 | 25,328千円 |
| 市制だよりの配布、その他広報活動への交付金 | |
| (4) ごみ減量化等啓発事業 | 480千円 |
| ごみ収集カレンダー配布への交付金 | |
| (5) 魅力あふれる地域コミュニティ創生事業 | 6,300千円 |
| 地域の独自性を活かしたソフト事業、自治会加入促進に関する事業への交付金 | |
| (6) 熱中症予防及び節電対策事業 | 750千円 |
| 集会所施設のエアコンを活用した、高齢者の熱中症予防及び節電対策への交付金 | |

◎多様な主体による協働の推進

(施) 全国お手玉遊び大会事業費 (市民部 市民活動推進課) (75周年記念事業)

2,000千円

1 事業目的

平成24年は日本のお手玉の会創立20周年と市制施行75周年にあたることから、これまでの集大成と今一度お手玉文化の素晴らしさを再認識し、さらなるお手玉文化の保存、継承活動を図る。

2 事業年度

平成24年度

3 事業概要

補助金 2,000千円

(1) イベント名

「日本のお手玉の会創立20周年・新居浜市市制施行75周年記念第17回全国
お手玉遊び愛媛・新居浜大会～ぬくもりを届けたい、手から心へ～」

(2) 事業費総額 4,450千円 (予定)

(3) 内容 開催日：平成24年9月29日(土)、30日(日)

場所：リーガロイヤルホテル新居浜

1日目 講演会、シンポジウム、交流会

2日目 競技大会 投げ玉「個人戦」「団体戦」

◎国際化の推進

(施) **国際化推進費 (市民部 市民活動推進課)**

1, 874千円 (3,422千円)

1 事業目的

「新居浜市国際化基本計画」に基づき、本市の国際化を推進する。

多文化共生社会を目指し、日本語教室の開催、生活ガイドブックや市内地図など各種情報提供にかかる多言語化を行っており、平成23年度には市内在住の外国人がより暮らしやすいように、「外国人対応窓口」を設置し職員を配置した。今後は、外国人対応窓口を更に周知・活用し、来庁した外国人への対応、種々の情報の翻訳、通訳などを行いながら、国際化・多文化共生社会の推進を図る。

2 事業年度

平成24年度

3 事業概要

- | | |
|-----------------------------------|----------------------|
| (1) 外国人対応窓口設置事業 | 955千円 |
| 対応時間：月～金 13～17時 | |
| 対応可能言語：日本語、英語、中国語 | |
| (2) 国際交流活動推進事業 | 820千円 |
| 外国人のための夜間日本語教室及び日本語教師養成講座委託料 | |
| 日本語教室 | 日時 毎週火・木 19:30～21:00 |
| | 場所 ふれあいプラザ |
| 日本語教師養成講座 | 初級編 10回 |
| (3) グローバルパーティー開催補助金 | 80千円 |
| 2月に開催される外国人と市民が異文化交流を行うパーティーへの補助金 | |
| (4) 通訳等謝礼 | 19千円 |

4 財源内訳

- | | |
|----------|---------------------|
| (1) 繰入金 | 1,794千円 (国際交流基金繰入金) |
| (2) 一般財源 | 80千円 |